

静岡市におけるアリーナの必要性

1 市民アンケート結果（平成29年度実施）

①将来どのようなまちを期待するか（※静岡都心地区についての質問）

- これまで静岡市では機会が少なかった文化・スポーツの楽しみ方が可能なまちを期待（そう思う・どちらかといえばそう思う…45% そう思わない・どちらかといえばそう思わない…23%）
「流行のアーティストやお笑いのライブを楽しめるまち」「プロスポーツ観戦を楽しめるまち」といった、これまで静岡市では機会が少なかった“エンターテイメント性の高い文化・スポーツを観る”ことが可能なまちを期待

②新しい施設への期待（※静岡市民文化会館の建替えについての質問）

- 今もこれからも大きく期待される施設-“観る”機能への対応
“文化・スポーツのまち”として静岡都心地区に期待するイメージを実現するためには、「エンターテイメント性の高い芸術文化を鑑賞できる施設」が大きく期待されている。（そう思う・どちらかといえばそう思う…72% そう思わない・どちらかといえばそう思わない…8%）
- 新たに期待される施設 - “観る”機能への対応
同じくエンターテイメント性の高い「プロスポーツを観戦できる施設」は、これまで静岡市では観戦の機会が少なかったこともあり、新たに期待されている。（そう思う・どちらかといえばそう思う…57% そう思わない・どちらかといえばそう思わない…14%）

◎：可能性高い ○：可能性あり

2 市場調査（平成29年度・30年度実施）

施設	ヒアリング先 規模（席数）	施設運営事業者			コンテンツ事業者			
		A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社
アリーナ	10,000席	◎	◎			○	◎	
		ｺﾝｻｰﾄ	ｺﾝｻｰﾄ			ｺﾝｻｰﾄ	ｺﾝｻｰﾄ	
	6,000～7,000席	○		◎		○	◎	◎
		ｺﾝｻｰﾄ		ｺﾝｻｰﾄ		ｺﾝｻｰﾄ	ｺﾝｻｰﾄ	ｺﾝｻｰﾄ
	5,000席		◎			◎		◎
			ﾌﾟﾛｽﾎﾟｰﾂ			ﾌﾟﾛｽﾎﾟｰﾂ		ﾌﾟﾛｽﾎﾟｰﾂ

3 アリーナ（7,000席規模）の実現による静岡市への効果（新規誘発効果・観光庁統計資料より算出）

交流人口	経済波及効果（初期投資）	経済波及効果（維持管理運営）	市民税誘発額	雇用誘発数
48万人/年	124億円	102億円/年	1億円/年	1,007人

4 近隣類似施設との差別化

	想定	静岡中央体育館	このはなアリーナ	ツインメッセ北館/南館	グランシップ大ホール	エコパアリーナ	浜松アリーナ
客席	7,000席規模	固定席：984席 最大収容：一席	固定席：2,700席 最大収容：4,000席	固定席：一 最大収容：北6千人/南6.5千人	固定席：2,194席 最大収容：4,626席	固定席：4,868席 最大収容：10,000席	固定席：3,544席 最大収容：7,600席
フロア	コンクリ 車両乗入可 ステージあり 天井高20m程度	木製 車両乗入できず 2,440㎡（北/対3面） ステージなし 天井高26m	木製 車両乗入できず 3,772㎡（北/対4面） ステージなし 天井高28m	コンクリ 車両乗入可 北5,000㎡/南5,400㎡ ステージなし 天井高 北13m/南10m	石張 車両乗入できず 1,720㎡ ステージなし 天井高58m	木製 車両乗入できず 4,165㎡（北/対4面） ステージなし 天井高26m	木製 車両乗入できず 2,860㎡（北/対3面） ステージなし 天井高20m
利用内容							

目指すアリーナ

現在市内で実施されている内容

西部地域